

● 小山乃里子の

# 華麗なる食べある記



△21▽ レストラン ゲーニー

△22▽ 山菜料理 六 段

## □ ゲーニー

★ 本当の食べる楽しみを満足させるレストラン

「ものすーごくおいしいピZZァの店、おしえたげるわ。だけど、ノコにいうたらすぐ知れ渡るしなあ。あんまり人に教えない店やねん」ひとをいかにもおしやべり女の典型みたいにいるてからに、もったいぶって連れていかれたのが、ゲーニーだった。今の店の、前の店、でもそこも今でもやってるから、つまり、元の店、ややこしい。その時食べたアサリのスープと、大きな銀のお盆にのったピZZァの味が、あまりにもおいしかったために、私はそれ以後、人にゆったらあかんよという約束をやぶっては、ちょいちょい友達とピZZァを食べにいったものだった。

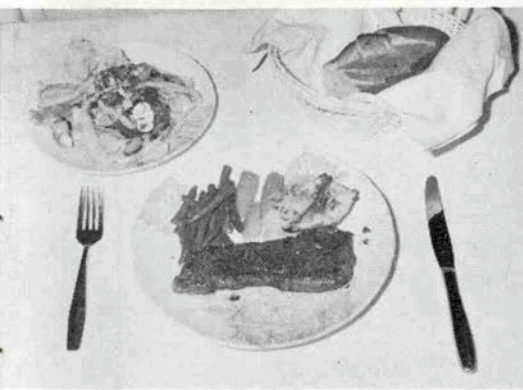
私はかなり単純な女だから、ここはこれがおいしいと思いつつ、いつ行ってもメニューなんて見やしない。アサリのスープに、ミックスサラダ、カネロニ、ピZZァ。それだけ頼むとあとは黙々と食べるのみ。

このサラダは、本当においしい。なんて書くとマスターがきつとカウンターの奥からだなるだろう。「うちはまずいもんなんて何一つおいてないでえ」。でも、冷凍じゃないエビやマッシュルーム、カニの身のふんだんに入ったサラダは、ちよっと他の店にはない味わいである。

そうやって何度か行くうちに、ある日、「小山さん、一回位、うちの看板の料理食べえなあ」とマスター。「ええっ、ここ、イタリア料理の店ちゃうのん？」と私、「ヨーロッパ料理でっせ。肉が特においしいんや、メニューに、ピZZァ書いてまへんやろ」「メニューなんて長いこと見てへんもん。そら、えらい悪いことで、ほんなら食べるわ、おすすめをちょうだい」なんてことで、今日食べたのが、次に紹介するものである。

まず、生ハムとメロン、この生ハムは、当店特製、一週間位いぶすのだそうだが、適当な塩けがおいしい。クリームマッシュルームスープ・カップ入りをもらう。お皿入りもあるが、頼んだものの全部をおいしく食べられるようにと量をかげんしてくれる。この店の特長なのだ

## グーニー



▲サーロインステーキとグーニー風ミックスサラダ

「美食の喜びを味わって欲しいですね」とマスターの内山成昭さん



が、ついたくさん注文すると、まだ食べられるようなら、あとで注文して下さいと言われる。そしてたいてい途中で言われたあたりで、お腹は満腹なので大助かり。ステーキは塩とこしょうだけの味つけで、炭焼きにしたもの。口の中に肉の味が広がる。さすが自慢するだけのことはあるなあとマスターを見れば、ニヤリと口の端で笑った。カウンターのむこうにはずいぶんたくさんのワインやウイスキーの数々。そういや、ここで飲んだこともなかったっけ。デザートの梨のシロップ煮を食べながら、今日は新しいグーニーの一面をのぞいたようで、というはまったく私だけの感想で、ここは前からこの味で売っていたんだ。私がおくれていただけなのだった。

仔牛料理／1800円／ステーキ／2800円／グーニー風ミックスサラダ／1200円  
生田区北長狭通3 電話32113540 事務所 電話22211036  
正午／午後10時 第2・3月曜日休

### ★季節の香り、自然の幸が豊かに

秋の一夜。およそ風流とは関係のなさそうな趣きの、DJ仲間四、五人つどいて、何故か秋の七草のハナシになった。誰ひとり、正確に言えた者はない。

「はぎおばな、ききょうなでしこ女郎花、すずなすずしろ、ほとけのざ」。何度考えても、秋と春のこつちやまぜの八草になってしまう。ああ、こんなことでは、明日の日本の放送界はどうなるのだろう。ヨヨーツ。

その時ふと、六段の山田さんの顔が浮んだ。

「神戸のねえ、三宮の山側、歩いて三分位かなあ、山菜料理の店があんねん。そち、珍らしいもの色々あるよ。へえ、こんな食べられますのん、って手あいの山菜が、おひたしになったり、あえものになって、次から次へと出て来るの。あそこなら秋の七草も料理にしかないなあ、一ぺん行ってごらん。」

などと、ペラペラ喋ったりしたものだった。

## □六段





## 六 段



▲猪豚のアバラとふんだんの野山の幸、土炉鍋

「六甲山は山菜の宝庫です」とご主人の山田幸男さん

久し振りに六段をのぞいてみる。この三琴ビルの四階に引っこしてもう二年である。ちょうど、中村安沙さんの書作展も開催中で、さりげなくいけられた秋の野草にぴったりと合った雰囲気をかもし出している。店の中でこんな風に色々の展示会を開くのもユニークである。秋からまた味わえる土炉鍋をつつく前に、まずはます酒を一杯。これが丹波の小鼓の「なまさけ」。どなた様に限らず一杯かぎりときぎをさされた。ますを置いてふと見ると、ぐいのみのような、もう少し大きいかな、趣きのある器に色々のものがちよこっと入って並べてあった。菊の花のおひたし、菊の花びらは東北地方のが良いそうだ。桜しめじ、別名布引もたしという。草木という木の葉、黒かわのくるみあえ。

そこへまた直径一センチ位のかわいいおちよこに入ったまたたびのお酒も運ばれてきた。これを飲むと、また旅に出る気力がわいてくるので、又旅というのだそう。さて、目の前のお鍋がぐつぐついい出してさっきから味噌のかおりがお腹をちくちく刺激する。ふたを取ると、味噌だしの中にくしにさしたコンニャクとこいも、いのぶたのあばらのぶつ切り、とうふに大根。このいのぶたがおいしかった。やわらかいなんでもんじゃない。とろけそうなのだ。横にある山盛の山菜類。せり、きくな、千本しめじ、椎たけ、わらび、白菜などをお鍋に放り込んで、ふうふういいながら食べた。味噌のしつこさを山菜が消している。

今でも週に一度は山歩きに出かけ、食べられる山菜はほとんど知っているという山田さん。最後に秋の七草を聞いてみた。「萩、尾花、葛、などしこに女郎花、また藤ばかり、朝顔の花」。さすが。

お昼の定食／800円 山菜定食／2000円 甘子塩焼／700円  
陶板焼／600円 せり、水菜（みず）など一品／300円  
〒合区琴緒町5 三琴ビル4F 電話231・0406  
午前11時半／午後10時 水曜休

# 中国の子どもたち

橋本 明△社団法人「家庭養護促進協会」事務局長△

★九月に二週間中国を訪れました。幼稚園、小学校、中学校、養老院、子ども病院、人民公社などを参観し、いろいろ考えさせられました。今月から三回にわたり、福祉的な視点から中国をルポで紹介します。

中国への旅はまず子どもたちとの出会いから始まる。かわいらしい衣裳をまとった子どもたちの熱烈な歓迎は中国を訪れた人々を感動させずにはおれない。

私は天津市で幼稚園と中学校、旅大市で幼稚園と小学校を訪問し、多くの子どもたちの姿に触れることができた。幼稚園は日本の保育所に相当し、両親が働いている三才以上の子どもを預かるのだが、毎日通園する日託と週に一回親が家に連れて帰る他は幼稚園の寮で生活をする全託制とがある。中国では至るところに託児所があり、母親の56日間の産後の休暇が終ると、子どもが三才

知育、徳育、体育の三つを伸ばすことだどこへいっても教えられた。徳育はマルクス主義思想を学ぶため、幼稚園では解放軍の秀れた人物の物語などを教えており、授業では子どもを工場へ連れていき、労働者の働く姿を



町でみかけた父と子

みせることによつて社会主義の精神を養うのです、と先生が説明してくれました。参

観の時、幼稚園の子どもたちが四つの現代化を歌や踊り、絵画で表現してみせてくれた。「三つ子の魂百まで」というが、三才にもなると中国がめざしている国家建設目標を具体的に教育されるらしい。

人口七〇〇万の天津市には一、〇〇〇か所の中学校があるそうだが、その一つ、平山道中学校を訪れる機会があった。この中学校はモデル校として指定されており、昨年も神戸市からの訪中団が参観に訪れている。その時の写真が学校の入口にたくさん展示されていた。校長先生は「労働者に奉仕し、社会主義建設の自覚をもたせる」のが教育の目標です、と説明された。そのために、

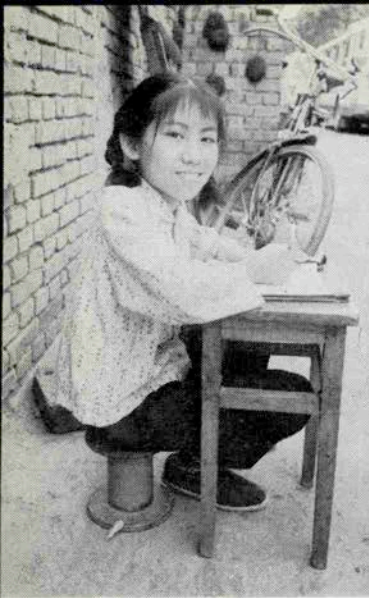


中国の子どもたちといっしょに（左が筆者）

になるまでの間、託児所で預かり、三才から小学校へ入るまで幼稚園で預かってくれるので、両親は安心して外へ働きに出ることができ

る。教育の目標は





右上 中学校の授業風景 右下 旅大市の幼稚園で子どもたちが歌と踊りで大歓迎 左 道端で勉強をする小学生

一定期間農村へいって労働をし、生徒に人民を愛し、労働を愛することを具体的に教えるという。また各学校には付設の工場があり、ラジオの部品を作っているところを案内していただいた。どの学校へ行ってもどのクラスをのぞいても、眼鏡をかけた子どもを一度も見かけなかったのは不思議だった。後で先生にたずねると、どこでも眼の体操をしており、座席の位置も時々変えるという。それに椅子に座っている子どもたちの姿勢がみなとても

いい。中学校の参観の時一、六〇〇人の生徒たちといっしょにラジオ体操に参加すると、眼や耳の体操も教えてくれた。

学校の参観とは別に、ホテルを出て一人で町を歩きまわるとどこへ行っても多勢の子どもたちが集まってきた。あまり豊かな生活をしているとは思えないが、子どもたちの表情は明るく、みな旺盛な好奇心に満ちていた。「大きくならたらどんな人間になりたいの？」とたずねると「労働者」「兵隊」という答えが多かった。天津では三年前の地震で壊れた小さな狭いレンガの家に住んでいる家族も多く、路地に入ると子どもたちが椅子を机がわりにして道端に座りこんで勉強している姿がよく目についた。

子どもたちにたずねると、学校は二部制の授業になっており、午前八時からお昼までのクラスと、午後二時から六時までのクラスに分かれており、授業のない時間は家で自習することになっているという。椅子の上にノートをおいて道端で一生懸命に勉強をしている子どもたちを見ていると、個室を与えられ、勉強を強いられる日本の子どもたちとどちらが幸せなのかなあ、とつい考えこまれた。

どの学校を訪れても、かならず子どもたちの歌や踊りの「出し物」を見せてくれるが、これがみなとても上手で楽しい。中国の子どもたちは託児所から始まって、小さい頃から集団の中で育てられていくようだが、それぞれの子どもたちの個性を伸ばすことにもかなりの努力がなされているようであった。

中国に滞在中、心身に障害をもった子どもたちの教育に接することができなかったのは残念であったが、日本のような心身障害児の養護学校はなく（盲、ろうあ児の学校はある）、軽い障害児は普通の学校で学んでいるとの先生のお話であった。

今度来る時には障害をもった子どもたちにもぜひ会ってみたいと思う。

しやれたあなただのお店を持ちませんか？

国鉄  
阪神  
元町駅から徒歩4分です

## テナント募集

ブティック・ケーキハウス  
喫茶・レストラン  
日本料理  
美容室・医院  
事務所に  
最適

# 山の手 シャルマン



附近案内図



一階平面図



◀完成予想図

### 建築概要

所在地 / 神戸市生田区中山手通4丁目27-1  
交通 / 国鉄・阪神元町駅より徒歩4分  
敷地面積 / 164.37㎡  
構造 / 鉄筋コンクリート造、地上5階建  
建築面積 / 136.27㎡  
延床面積 / 664.13㎡  
竣工予定 / 55年3月  
貸主 / 株式会社シャルマン  
設計監理 / 金丸建築設計室・倉本建築設計事務所  
設備 / エレベーター1基、自動火災報知機、  
TV・電話配管  
電気 / 関西電力(各戸別メーター設置)  
ガス / 大阪ガス(各戸別メーター設置)  
水道 / 神戸市営(各戸別メーター設置)  
広告有効期間 / 54年11月末日

### 募集要項

	専有面積	敷金	賃料
1F	107.54㎡	3,000万円	30万円
2F	121.15㎡	2,000万円	25万円
3F	121.23㎡	1,500万円	24万円
4F	120.49㎡	契約済	
5F	90.24㎡	契約済	

共益費 / 3.3㎡当り2,000円(予定)

各フロアー共、間仕切り、お支払い方法等相談致します

事業主(貸主) (株)シャルマン

神戸市生田区下山手通2-36

☎078-391-5005(代)



# ★神戸の集いから

★版画家・川西英氏の

全貌を一堂に展覧

連作「神戸百景」などの

作品で神戸っ子に親しまれ

ている版画家の故川西英さ

んの遺作展「みなと神戸の

ノスタルジア版画家川西英



作品を参観する櫛枝さんら

の世界」(主催/神戸市ほか)が、9月23日から10月2日まで、さんちか広場とギャラリーさんちかで開かれた。

これは、同氏の遺作千余点と収蔵品などが、このほど、櫛枝末亡人から神戸市に寄贈されたのを記念して開かれたもので、代表作三百余点が展覧され、同氏の芸術の全貌を知ることができ、画期的な催しだった。初日の午前10時から、

会場入口で、櫛枝さんら関係者の手によってテープカットが行われ、その後、一般の参観者が会場を訪れ、川西芸術を堪能した。

★突々と夫個展が開かれる

味わい深い版画と水彩画が並んだのはギャラリー神戸時代。9月16日から30日久々の個展を開かれた突々と夫さんは現在長田高校で教鞭をとる傍ら適格で風情のある版画作家として人気がある。「京都美大時代から優秀な画家であった」とは師の井上馨氏。今回は版画の他、珍しく奈良などのスケッチも展示され、実力派作家突々と夫の画量の深さが再確認された。人望の



突々と夫氏を囲んで

厚い突々さんを囲んで開かれた17日のオープンングパーティーには井上先生の他、赤木蘇夫二、伊藤誠、東浦好洋、菊川晋久、中西和夫、初田寿、花畑和夫さんら多勢が詰めかけ和やかな時がもたれた。

★元永定正のユーモア宇宙

「ハハフ」の絵の前に立ち止った時、(アツハハツ)と腹の底からおかしうって笑ってしまった。こんなにアツケラカンと抜けた楽しく美しい絵が現代にあるなんて、なんとも嬉しい。神戸の街への出度度ばかり頻繁で、グループ展で



談笑する元永氏と佐藤氏

は接していたが、意外や、元永定正展は神戸で初めてなのだ。9月18日〜27日まで元町画廊(佐藤廉)、60周年企画のトップを飾って開かれた。乾由明、赤根和生、河野通紀、西村功、中西勝、山口牧生、松本安、吉田稔郎、河口竜夫さんら約100名近い人々がオープンングに集まった。ファンタスティックなコスモス・ユーモアの世界に浸りながら飲むウイスキーは、実に美味しい

## ♥小泉パーティご案内

小泉パーティは

結婚を希望する男女にお見合や愛好会によって健全なご交際のお手伝いをいたします。身元の確かなことは良縁の第一条件です。身元の確かな方々の会員制の集いです。

・入会金 10,000円・年会費 10,000円

＜結婚シーズンを迎えて＞

ご婚礼のお買物のご相談は

神戸マリッジへ(無料)

楽しいご婚礼のお買物をご予算に応じてプランニングし、神戸の一流の専門店をご紹介します。

＜協賛店＞

家具の江戸屋・宝石のタジマ・ふとんのつゆき 紳士服のニッケショールーム・和装のみよしや 旅行の日本旅行・他各種の専門店

小泉パーティのご案内・入会書類ご希望の方は 事務局 千650 生田区北野町3丁目10-2 淡島マンション105号 電話078-242-0333 小泉正巳 お問合せ、ご連絡は午前中又は夜間に。

# ファンタジー講座

## LESSON・11

### すてきな トータルファッション ——音楽愛好家のための

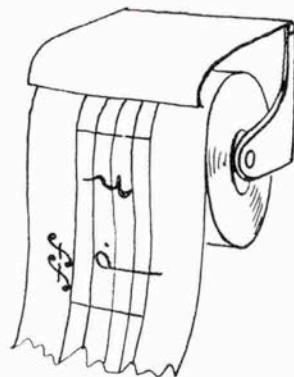
講師



岡田 淳



休みのための椅子



トイレットペーパー



長い曲を聴くときのための煙草



しゃべりかた





ペット その2



ペット その1



いれは



おへそのいれずみ

神戸のブティックとオーナー／クロス

## トアロード靴からバリーまで

清水 俊夫さん〈クロス社長〉



清水さん（トアロード「クロス」にて）

秋冬物のファッションショーを見ると、ほとんど全部といっていい程今年の靴はパンプス。高いヒールと簡素な形が好まれている。このパンプスは昭和十年代と三十年代に流行した。

昭和十年頃——ハイヒールの婦人靴がようやく日本でも作られるようになる。場所は日本中で唯一カ所、神戸のトアロード。その頃に婦人靴専門店として開業、以来同じ場所まで今日迄続いているクロスの清水俊夫社長に、靴の話など伺った。

——クロスは婦人靴のオーダーの草分け的存在なわけですが、開店されたのはいつですか。

清水「昭和十二年です。その頃はトアロード靴といって婦人靴専門店がトアロードに七軒程あったんです。勿論どこもオーダーばかりです。

紳士靴店はもっと古くからあったし、東京にもあったんですが、パンプスのハイヒールはトアロードまで来ないとなかった。だから東京からもお客さんは多勢いらしてましたよ。『靴は神戸』といわれたのはその頃からです」

——靴のデザインなんかは、どうしておられたのですか  
清水「フランスやイタリアのカタログがありまして、それで選んでもらっていた。といってもパンプスの形だからそんなに種類はないでしょ、ヒールの高さや先の丸味が違うだけ。それで寸法測って職人さんに渡すんです。坐ってもらって測って、立ってもらって測って。立って測ると体重によって形が違ってくるのね（笑）。職人さんは甲皮を張る人と底付ける人と別で、全部手で縫うんですよ。一日に一足しかできなかった。職人さんというのは気難しくってね、急ぎだから一日二足作ってくれといっても絶対してくれへんの」

——どんな方がお客さまでしたか。  
清水「上流階級のお嬢さんと芸人、それから外人やね。高峰三枝子、山根寿子なんて女優さんたちもお得意さんでしたよ。僕はね、山根寿子のファンでね、サインしてもらった（笑）。

今でもね、時々クロスのパンプス持ってるという人が来られるし、お年を召した方で娘の時買ってたよって入ってくる人がいる。二代目、三代目のお客さんとかね。だって僕に孫ができたんだからね（笑）」



上／古い家具やスイス、南仏の家具が多い。古い物では1700年代のがある。  
下／靴は Bally。年に2度、200足ずつ仕入れる。注文をすれば取り寄せてもらえる。

—今は靴はスイスのバリーだけで、オーダーはしていらっしやらないですね。

清水「戦後靴作りが全部機械でできるようになってからやめたんです。バリーを始めたのは十五年前ですが、神戸で一番最初ですし、一軒だけだった。オーダーで靴作ろうとしたらすぐかかるでしょ、バリーは今でも裁断はメス使ってる、手仕事でしているんですよ。昔のクロスの靴に代わるのはバリーだって思っていますね、だから今置いているのはバリーだけ」

—アクセサリー、服、家具も置いてらっしゃる。

清水「終戦後なんです、そのきっかけが面白いんです。戦争中、衣料が切符制になって絹のストッキングが不足してましたでしょ。ちよつと田舎の方に行くと、切符なしでいくだけでも買えた。お客様に頼まれてね、奈良の方まで買いに行つてあげたんです。」

—お客様の要望で始められたのですね。

清水「そうそう、お客さんに教えられたんですよ。」

家具はバリーを入れてからですが、バリーは年に四百足しか入らなくて、バリーだけじゃ店が埋まらない。これは何かディスプレイしないといかんということで家具を入れたんです(笑)。昔から古い家具が好きだったんですよ。だから売れたらいいけど売れなくてもかまわないって思ってた。そしたらね、どんどん売れてきちゃった(笑)」

—好きだから始めたというの、とても神戸らしいですね。

清水「靴も好きで始めましたからね。服もそうだし家具もそう。ただここはトアロードですから、トアロードに相応しい物を捜さないといけないと思うんですよ。」

うちはバリーの靴、雑貨、家具と輸入品を扱っているわけですが、できるだけ直輸入して安く提供したいと考えてるんです。勿論トアロードに向くいい物でなくてはならないでしょう。つまりそれがコウベファッション、そしてトアロードファッションだと思います」



くりんちゃん

お元気ですか?



絵と文

おかだみほこ

いうミニショップを作りまして九日間遊びました。みんななんて読むのかわからないらしくって「おんなのこじるしほんぽ」とカナをつけました。今まで二人展はやって来たけど、こんな企画は初めてじゃない。イラスト額★手作りのクリスマスカード★シル★カレンダー★手染めの袋etc……可愛いお店になりました。一日目に来て下さった小さなお客様がね、二日目、一番乗りで「おねえさんおはよう」って……「昨日買ったお人形、蛍光灯にぶらさげてんのとーっても可愛い、それで……ねもらって!!」ってみどり色の小さなへびさんのいぬぐるみもらいました。思わずキヤツとうれしくなりました。そんな日は売れなくても、とてもハッピーです。小さなお店は、小さなお客様と、すこうしはにかんだ、私くらい(?)なおお客様でいっぱいでした。小さなお客様はサイン帳にいかにも忘れられないかを目的に、それぞれいろんな色のマジックでサイン(?)して行きます。「覚えていてね私のこと」と言われて「うん」でも本当は仲々みんなの事覚えられないのごめんなさい。もう一度会えたらきつと覚えられる。「サインして」って学生手帳出すお客様もいたのよ。なんかへんなくすぐったい気分だったわ。くりんちゃんやりんごちゃんが、お客様と私を結びます。やってよかった。一回目も二回目も、こんな気持ちになりました。絵って説明いらないの。見て下さった方が話しかけてこられます。うれしい心や、優しい気持ちになって帰って行かれます。



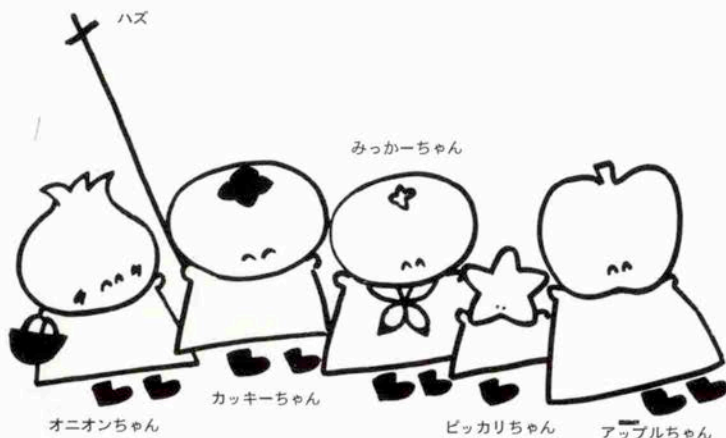
くりんちゃんお元気ですか、窓のスクリーンにはとんぼの群、いっっぱいです。山科にこしてきてもう7ヶ月がすぎました。

この前神戸で「おんなのこ印本ほ」と

これにこぎつけるまでの必死の緊張感!! 終った後の喜び!!あまりに対照的でうれしいわ。

私いつだって一生懸命燃えてる前向きの自分が好きなのね。やっぱりやんなきゃ、やるしかないって思うもの。私にはこれしかないわ。でもいつもいつもそうじゃないのよ。山科の風(ふう)に吹かれていると、とてもおちついてきます。私の絵は日々(日々)のほんの小さな出来事から生まれてくる事もしばしばです。昔は肩はって生きてた頃もあったわ。でも素直に自然に生きていくのが似合っているとこのごろ思うのです。

お店を終えて久々に帰って来た山科は妙に空が高くて、青々しくなっていました。電球の光もとてもあった



かくなったような気がします。毎日、「秋よ、ワァー秋だ、ねえ秋よ」なんてはしゃぐものだから、チトうつとうしがられたりして、「秋なんてほってでもくるさ」とうちのダンナ様……。

近所に鈴なりの柿をみつけると、小さい時田舎で、柿の木に登ってはずで落としていたのを思い出します。そして妹がザルもって捨てる。サル・カニ合戦みたい! デパートにきれいな柿がチョンとお行儀よく並んでたりすると、何かあれは柿じゃないみたいに変なカンジで……。そうそうブドウ色のスカーフが欲しくて何で作ったと思う? ないしよないしよ。すこしまだになつたけれど……。もすこしたら山科の疏水べりに落ちるドンダリさんで、首飾りも作ります。イチヨウの葉っぱには、何枚も何枚も「お元気ですか」って書いてバラまきます。それからね、秋の夜長つれづれに、大好きな人に、午前0時、「お誕生日おめでとう!!」って電話するのです。一番のりのプレゼントになります。でもこれは迷惑になつたりするから……気をつけて!

でもうちの中はまだ夏なのです。トイレの鏡に夏雲が浮きつばなしだし、ソフトクリームの絵だっかかりつばなし……。早くしなきゃ、急がなきゃ、と思いつつ気持がいつも先走りします。

くりんちゃんの秋ですよ!!とげとげのバッグに宝物いっぱいいつめこんで遊びに来て下さいね。

山科の夕焼けはきれいわ。

■おかみほさんはヤングミセスではありませんが、いつまでも少女っぽさの残った夢みる夢子さんでもあります。その人となりびつたりメルヘンあふれる世界をもった人です。

## ● ジョイントは……

ジョーニングライフストアという名のところ、精神の若い人たちのためのお店です。新しいライフスタイルを提案する我々のための店として、常に何かをひきだしてくれるお店です。

ジョーニングライフ ストア・ジョイント

**jjoint**

JEANING LIFE

三宮・ジョイント

〒650神戸市中央区三宮町1丁目33番地

トア・ロードの昼と夜を  
パウリスタ  
の優雅なサロンで



TEA & GRILL  
**paulista**  
トア・ロード パウリスタ

神戸市生田区三宮町2丁目34(パウリスタビルB1)  
TEL 078・391・0061

営業時間 / 午前10時～午後8時30分  
第1・第3水曜日定休

スペシャル

## ★ニューカレドニア8日間

¥199,000

11月7日・14日・21日・28日出発

年末

## ★大阪/パリ往復航空券

¥198,000

12月26日出発 1月9日帰国



## ENGLAND

安全の留学——英国留学のお手配します。

- 実績7年
  - ロンドンに日本人スタッフ在駐
  - 実力、希望に合わせた学校を選択します。3か月～1年間
- その他、何でもご相談ください。

運輸大臣登録一般旅行業 第492号 TOP NOTCH INC



株式  
会社

**トップナッチ**



〒651 神戸市葺合区琴緒町5-7

☎ (078) 242-2695(代)

本社 東京  
海外支店 ロンドン/リージントストリート  
パリ/シャンゼリゼ通り



●秋のチャリティファッション公開講座／KFS主催

# わたしは流行の先を行くのヨ

大屋政子「人生を語る」



恒例の記念写真。「また神戸に呼んで下さいね」と大屋政子さん

今年にはちょっと趣向を変えた講師で、今マスコミで人気の大屋政子さん（帝人社長夫人）を迎えての秋の公開講座「日本に本格的なオペラハウスを建てること」が一番の望みとおっしゃいます。（できればポートアイランドに、と思うのは神戸っ子たちの望み）

世界中飛びまわっている大屋さんのファッション論。「テーブルクロスに穴をあけてドレスにしたの。それ着てテレビに出たら、それから一週間後のパーティー

で或る女優さんが真似てたのヨ。私が変わった格好してたら必ずそれ“流行”するの」即ちファッションとはアイデア也。

「私はおと一ちゃんのために働いているの。おと一ちゃんが死んだら仕事やめて引退するつもりよ」即ち良妻貞女論。

「先妻の子供を結婚させる時には、ずい分お金を使ったけど、私の二人の娘は贅沢させませんでした。でも今結婚して一緒に住んでいるのですが、本当にいい娘たちです」即ち子育て論。

「不動産の仕事は生活のためにして

います。でもテレビだとか講演会は全部オペラハウスの資金にまわします」大屋さんは女性に人気があるのですが、きっと彼女が快妻なのに可愛い女だからであらうと思いました



田中さんより花束

## 華やかにタキシードパーティー



全員そろってフィナーレ。皆さんおすまして。

10月6日（土）北野クラブで、スーパースワレ主催のタキシードパーティー第1回が開かれました。フォーマルウェアでのパーティーは（パーティー好きの神戸ですら）あんまりないので、敢えてやってみようという若手紳士服業者の企て。

さて当日、早々ご同伴でドレスアップして到着された顔、顔、顔……。華やいて楽しそうな様子に主催者の我々まで嬉しくなってしまう。ディナーのあと湯井一葉さんのシャンソンに合せて、皆な手拍子と合唱。司会の村上和子さんのリードでムード最高潮の時にタキシードファッションショーが始まります。これにはお客様の中から飛び入りも続々。湯井さんも飛び入り参加。計9人のタキシードを着た紳士（田中謙司氏とか私だとか）に、ロングドレスの美女が増えたところ、ショーはフィナーレ。

これから毎年続けようと思っておりますので、皆さんご声援お願いいたします。 中島正義

## 〒 POST & POST

谷川文子さん

9月8日国鉄本山駅前ダイソービルM2階に「あとろえふみこ」岡本店をオープン。開店記念に第3回創作発表会を開かれました。

東灘区岡本1丁目5-5 ☎453-3936

小林絹代さん（移転）

〒654 須磨区西落合6丁目150-306

## ’79 Xmas Party のお知らせ

12月18日（火）6:00PM~9:00PM

サントノーレ北野店（北野町象のあるビル6F）☎221-3886

チケット/5,000円

今年もまたファッションナブルなクリスマスパーティーを計画しました。楽しい夜を過ごしましょう。



23

# 今月だけは 京劇のこと

淀川 長治  
△映画評論家▽

はさすがにワカランと家に残した。ところで大正十三年は連れていってくれた。聚楽館だった。十五才の私はジャリのくせに梅蘭芳にオカボレした。あんなきれいな女の人と見とれきった。もちろん女形とは知りながらあこがれた。その衣裳の美しさに圧倒された。

これが昭和三十一年となるもはやこの(芸術)に酔った。やっぱり懐しや梅蘭芳だ。この夜は歌舞伎座(もうとくに私は東京に移っている)で沢村貞子さんと見た。今回のBプロ上演の「拾玉鐲」もその夜見たのだが私はそのパントマイムの美しさに自分のからだが消えてなくなつて舞台のその俳優のからだの中に乗り移つてしまった気がしたのである。沢村さんはこの夜の『ガントウザン』でもはや我慢できぬか中腰に椅子から立ちあがつてしまった。というわけで昭和三十八年来演のときも見て、それで私は(友の会)という若人の集り……これは今もやつていて教えてすでに三十年をこえるという次第なのだが、この若人一五〇人あまりの集りで私はとくとくといつも京劇を語り、ついには「拾玉鐲」を一席手ぶり足ぶりパントマイムそのままに演つてみせるのである。

京劇が来るというのでフランス映画社の川喜多和子さんと一カ月前にABC三プロの切符をいっぺんに買ってしまった。私はキョーゲキキョー。これはウグイスの声に非ず。京劇狂。それで今号だけは活動写真の話を止めて京劇のコーンに移る。

これでも私におきましては京劇すでに今回で四度目といういささかのつう。大正八年は私十才だったので両親



「三岔口」より



「拾玉鐲」より

これは今に始まつたことでなく二年三年四年まえから入れかわり立ちかわり来るその若人に見せた。というわけで今回来演にあたり私の熱が若人にしてみたか、なんとABCそれぞれに五〇人がつめかけて、国立劇場のロビイでその幕あいにチラチラと逢つた若人、私を見るなり「拾玉鐲」はセンセびつたりセンセのとおりでした! 恥づかしいロビイには人がいっぱいいてはるやないか。まあこれだけ熱を出すくらいのもので何かが何とかな





「水漫金山」のフィナーレより花束を受ける出演者たち<神戸文化ホールにて>

るもんなのだ。九月八日のひるのＣプロを見た幕合いで私は川喜多和子さんから杉浦康平氏を紹介された。今回のプログラム・パンフレットのデザインをされている。その杉浦氏からこんどの一座の通訳をおひき受けの黎波さんを紹介され、それらのおかたと話しているうちにこのひる番組が終わったとき楽屋へいらっしやいこのロビイのここで待ってますから御連れしましょう。黎波さんがそう思う一念つうじるもので、えらいことになってきた。まさか京劇の楽屋。「水漫金山」終るやロビイへ馳けつけた。かくて国立劇場の楽屋へ。靴をぬぎスリッパをすべらし胸ドキつかせ。こ走りに走って俳優さんたちに、

あの「孫悟空」の衣裳に、その馳け出しているさいちゅう廊下の右手から「淀川はアーン」……あれ誰？ それがあなた文楽の玉男はん。人形使いでは天下第一品のあのおひと。『あんた、きようは何でんのん？』『まあタマオはん、ここで逢おうとは、ああうれし』たちまち文楽スタイルになりかけた。実はこのおひととは数年前新幹線の席で隣り合した。『わて映画好きでんねん』『私は文楽好きでんねん』互いに『ほんまだつか』と手に手をとって二人でしゃべったわししゃべったわ。

とそのようなわけで「一度、楽屋へよりなはれ」と仰言って別れたのだが私は上演中の楽屋はしんけん勝負の念の入れどころ。そのような所へのこのこゆくのはこわい。というわけだったのに京劇のこの日はひるの部とよるの部の間。これならとあまえての楽屋訪問。ところで玉男氏がとたんに声かけられたは、この今日が文楽の国立劇場の初日であったのである。文楽見ないで京劇とはチトつらい。それでちよいと玉男はんの楽屋ののれんくぐつたら加藤キヨマサの人形がデーンとあたかも神サマそのままに楽屋にそなえてあつて、さすが玉男はん……感ゲキ一杯。とそうしているうちに、こちらは中国や、あわていろいろな立派なおかたにお目にかかったが誰方がどなたかさっぱりわからへん。まだクマドリ、そのおめんそのままのお顔、「秋江」の老船頭さんをちかに見ると意外に若い、私がそこで舞台をまねてからだを上下に深く動かすと笑いころげてターシャターシャとか仰言ったが何にもこっちはわからへん。けれども冗談ぬいてこの京劇の楽屋、アカデミックだった。大学の庭だ。みんな上等な連中。衣裳の説明ももはや紙数なし。ただひとつ。朝から四〇回五〇回と飛躍の練習つんだその一人が、そつと、たった一人、カーテン下りた無人の舞台で、またもサツサツトン、サツサツトンと練習のそのフットライトの当らぬ暗い舞台のその風景に私はじーと見とれてしまったのであった。



# 女体百景

<87>

## 二人妻

細川

董ただす

△文とえ／哲学者▽

あなたは チェンライ 御存知ですか？チェンマイなら玉本事件でよく知ってるけど とおっしゃるのですか？

ごもつともごもつとも。知らざあいつて聞かせやしよう。チェンライは、チェンマイからまだ大分奥地へ入った所の地名なのです。

どんな所かって？

まあまあ、そうあわてないであわてないで。

タイとビルマとの国境近くにある世界でも有数の宝石の出る街なんですぞ。ルビーやサファイアが集まってくるのです。

蔣總統の一族一軍が、この町をとりしきっていて、ビルマゲリラと対峙し、そのすきをぬってふところにルビーを隠ませた密輸入者がビルマから国境を命がけで越えて来るというのですぞ。

本蔭には、どこに銃口が侵入者をねらっているかわからない。ジープで密林を走って町へ入って行く時、うかうかキョロキョロしようものなら一発でズドンとやられる危険性ありというのです。

その代り虎穴に入らずんば虎児を得ず、の例えあり、飛び切り安く宝石が手に入るというのです。

五万円で買って来たピンクの玉が神戸へ持ち帰って宝石店で調べてもらえば三百万円もする本物のルビーだったとか。世界の宝石業者が命がけで、チェンライへもぐり込もうというもうなずける。そればかりではない。肝心なのは女の話。

若い何人かの妻を最低一カ月はべらせて始めて宝石の取引に応じてもらえる風習とか。

蔣總統の血を引く美貌の結婚希望の女達が皆様のお越しをお待ちしているとか。

こう聞かされてはじつとしてはいられない。この道十五年の彼は、ヨーロッパ百二十回、アメリカ三十回の旅行業者の血がさわぐ。欲と色との道連れ結構。

早速、会社へ休暇届けをいさぎよく出してタイへ飛び、チェンマイからジープでチェンライへの旅に出た。

早くもジープは、密林にさしかかっていた。彼を待ち受けているチェンライの若い女達のことを思うと彼はフト日本で始めて経験したダブルサーヴィスを想い出していた。

「私達二人いっしょでどう？」

「え？ いっしょに？」

「ええ。ダブルサーヴィスよ」

といわれて、やっと意味が通じてOKすると、一人はフエラチオ、一人はオッパイを吸い始めた。一人は丸顔で色黒でデッ尻、一人は長顔で色白で胸長、二人ともやせていた。彼の顔の上に長顔が後向きにまたがって、彼の下半身にまたがっている丸顔と向い合って二人は抱きあひ彼は、長顔の花弁の中に顔を埋めて悶えたものだった。

いわば、それは営業上のサーヴィスとして全く受身に、二人の女のダブルサーヴィスを受けた訳である。

これは、神戸の某トルコでの話であつたが……。  
そうじゃなくて、これが二人の愛する妻達から心をこめてやつてもらえたら、どんなに素晴らしいだろう。  
しかし、それは夢ではない。もう間近に近づいている  
チェンライへ着けば、それは現実になるかもしれない。



ジープを運転している案内人は、彼の気持を察してかニヤツと助手席の彼を見て笑つた。

さて、いよいよチェンライに着いて部落の長に案内されてみて話に聞いていたことはうそではなかったのだ。「ここでは、あなたの氣にいった妻を最低二人は選んで下さい。そして、少くとも一カ月は暮らしていただかなければなりません」

案内人の話では、彼らの風習に従つて生活してこそ信用され、商売の相手になつてもらえるので、もしそうしないと生きては帰れないというのである。

夢に見た二人妻は、現実には命がけという事態に相成つたのだ。少女のようにういういしく顔立ちのいい色の浅黒い丸顔と長顔の二人の妻を彼は選んだ。ただ、仲のよさそうな特にあれの好きそうな二人を選ぶようには心がけた。

ほんとうに、可愛い二人だった。彼は、その夜から、わらぶき小屋のむしろのようなベッドに、二人妻にはさまれて実際に寝ることになつたのである。

命がけである。ただひとつ、彼女等の体臭がフランス香水の世界とは程遠いのが彼のやる氣をくじくのであつた。彼は少女趣味だし、色の黒いのも結構なのだが、どうも非文明のにおいというものは急には、どうにもなるものでない。

むし暑い夜の中で、身じろぎもせず二人の少女の間で寝るということの苦しさを味わうことになろうとは。

というのも彼は疲れ果てていて、二人を同時に満足させ得る自信が湧いて来ないのである。二人の若妻もただじっと寝ているだけで、特に彼にむこうから積極的に何もしかけて来ないというのも不気味である。誰かが、物かげからのぞいているようにも思える。

一人と、してしまえば、そしてもし万一もう一人の要求に応えられなければ……。ズドン！

彼は、待ち受けている密林の二匹の毒グモの巣に引き込まれたカマキリのような氣がしてならなかった。